

平成30年度学校自己評価システムシート (県立春日部高等学校定時制の課程)

目指す学校像	基礎学力を身に付け、人権尊重の精神を養い、一人ひとりの生徒が生き生きと共に学び合う学校
--------	---

重点目標	1 安心安全な環境の中で、基本的な生活習慣を身に付けさせ、規範意識と自己管理能力を育成する。 2 「わかる授業」を実践し、進路に応じた学力の向上を図る。 3 キャリア教育を実践し、進路希望を実現する。 4 学校・家庭・地域社会への情報発信を通じて、魅力ある学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	不登校経験者や外国籍など、多様な生徒が在籍している。一人一人の生徒の社会的な自立をめざし、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、ルールやマナーを尊重し、自他に配慮した生活を送れるよう指導していく必要がある。	中途退学者数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員間の情報共有 家庭との連携 SC、SSWとの連携 外部諸機関との協力 	中途退学率(前年度9.6%)が減少したか。			
		出席状況を改善させる。	<ul style="list-style-type: none"> 登校時の声かけ指導 校内巡回指導 家庭との連携 出席状況の推移把握 	出席率(前年度88.3%)が改善したか。			
2	落ち着いた学習環境の中、きちんと授業に参加している生徒が大部分であるが、生徒の実態を踏まえた「わかる授業」を実践し、個に応じて、社会人として必要な基礎的な学力を定着させることが必要である。	授業理解度を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> 教員相互の授業見学(年間2回以上)等による授業改善 授業アンケートの実施 	「授業が理解できている」との回答率(前年度83%)が向上したか。			
		成績不振者数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導(少人数、習熟度別、TTなど)の実施 外部指導者(多文化共生推進員、学習サポーター等)の活用 	各学期での成績不振者数が、前年度を下回ったか。			
3	4年間をとおして適切で健全な勤労意識や職業観を育成し、進路希望実現に向けた目的意識を培うことで、卒業後の進路決定率を今以上に向上させることが必要である。	進路決定率を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> 進路講演会、ソーシャルスキル講演会等の実施 総合的な学習の時間の活用 生き方在り方教育、人権教育の実施 就職指導(面接指導等)の充実 進学指導(進学補習等)の充実 	進路決定率(前年度84.3%)が向上したか。			
4	「学び直し」「やり直し」の場としての本校の存在意義を説明し、本校のよさをPRするとともに、HP等をとおして最新の学校情報を提供することが必要である。	中学校等との連携を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会、進路相談会等の実施 中学校等の訪問 学校行事実施後や部活動大会後等のHP更新 学校見学者への対応 	中学校訪問等をとおして、本校の情報を適切に提供できたか。			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	平成	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			